

「にのトーク」での主なご意見（概要）に対する町の考え方

「にのトーク」では、2019年度から始まる「第5次二宮町総合計画後期基本計画」をつくるにあたり、二宮町に「住んでよかった」「住み続けたい」と思えるようなまちづくりのため、ご参加の皆さまに自由に意見交換していただいています。

第1回及び第2回でご参加の皆さまから出された主なご意見に対し、基本目標ごとに町の考え方を公表します。

基本目標1 「生活の質の向上と定住人口の確保」

意 見	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園について 保育園には入れるのか 保育園の質は大丈夫か 	<p>⇒町内には5つの保育園があり、4月1日時点の待機児童数は、28年度が0名、29年度が5名と年度やお子様の年齢により差がある状態です。いつでも入れる状態ではないため、希望がある場合はお早めにご相談ください。</p> <p>各保育園は施設の状況や育児方針などそれぞれ特徴があります。今後その保育園で過ごすお子様のためにも、申込み前に施設見学などをお勧めいたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住促進のためのPRをするべき 	<p>⇒町では、自然や交通環境、温かい人といった二宮の魅力を町外に発信するシティプロモーション事業に力を入れており、プロモーション動画「菜の花畑のニーノ」の製作・公開のほか、東京などで開催される移住フェアやセミナーへの参加、また、今年度は、実際に町の魅力を感じてもらった移住・交流・体験・ツアーを開催しました。</p> <p>この事業展開については、行政主導ではなく、「町の魅力を発信したい」町民有志団体である「にのみやLOVES」のメンバーなどと連携して町民の生の声を発信することに主軸をおき発信していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家・空き地の対策や活用についての取り組みはあるのか 	<p>⇒全国的な課題となっている空き家の予防・適正管理・流通・利活用を検討する組織を平成30年度に立ち上げるとともに、空き家バンクの活用など、民間事業者との連携を図っていきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦さん専用の救急車などを導入して、子育て支援を充実してはどうか 	<p>⇒妊娠期から育児期まで切れ目のない相談窓口として、子育て世代包括支援センター「にのはぐ」ができました。救急車の導入はできませんが、出産に伴う不安や悩みにより、登録制の専用タクシーの情報など、妊婦さんが安心できるアドバイスを行っています。</p>

基本目標2 「環境と風景が息づくまちづくり」

意見	回答
<p>・吾妻山公園など、町の観光情報の発信は重要である</p>	<p>⇒観光マップなど、町の見どころを紹介する冊子は、町観光協会のホームページのほか、県内外で行っている移住イベントなどで配布しています。また、菜の花などの観光シーズンに合わせ、積極的なプレスリリースを行い、マスメディアを活用した広報活動にも力を入れています。</p>
<p>・バードウォッチングなど、もっと二宮の自然を堪能できるインフラ整備を進めてはどうか</p>	<p>⇒町では吾妻山を中心に、四季を通じて自然を楽しむよう整備を進めています。また、自然だけでなく神社や古墳など、文化的名所についても観光資源として活用できるよう、整理しています。</p> <p>健康志向が高まる中、ウォーキングマップは町だけでなく、地域の有志も独自の視点で作成しています。</p>
<p>・音楽演奏会等、文化イベントを充実させるべきだ</p>	<p>⇒町では文化芸術活動のほか、環境や食育など幅広い分野で町民団体が主体となった活動が行われています。この自主的で積極的な町民活動は町の特徴であり強みの一つと捉え、町は今後も公益性が高い町民活動を支援していきたいと考えています。</p>
<p>・オリーブ事業の今後はどうなるの</p>	<p>⇒二宮のオリーブは、熱心な生産者などによる新漬けやオリーブ茶などの製品化がはじまり、二宮ブランドにも認定されました。今後は、近隣自治体と連携を図りながら、湘南オリーブのブランドの確立や販路の拡大などに取り組んでまいります。</p>
<p>・商店街の再生化として町が取り組んでいることとは</p>	<p>⇒町の経済の活性化には、小売商店の活性化も欠かすことのできない要素です。そのため、町は商店連合協同組合と連携し、町の重点施策である健康づくり・未病改善事業に参加した方へ、インセンティブとしてJOYカードのポイントを付与することで、町民の未病改善の推進とJOYカードの周知、普及の相乗効果を図り、商業振興につなげる取り組みを進めています。</p>

基本目標3 「交通環境と防災対策の向上」

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの設置などの防犯対策はどうなっているのか 	<p>⇒防犯カメラは犯罪の予防や摘発に効果があると考えられるため、現在も防犯・防災を目的に設置していますが、一般の通行者のプライバシー保護の観点からも地域と調整するなど、今後も慎重に設置していきます。</p> <p>なお、各地域では自主的な防犯パトロールが展開されており、警察の巡回活動と合わせ、空き巣や車上荒らしなどの犯罪抑止に効果を発揮しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線が聞こえない 	<p>⇒このたび防災行政無線で放送した内容を電話で確認できるようになりました。聞き逃してしまった際は、ご活用ください。0463-72-0039</p> <p>また、防災行政無線設備自体も平成30年度から3か年かけて全機更新するほか、放送した内容や警報などの気象情報をリアルタイムで登録メールや防災ツイッターに配信できるよう設備を強化します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「このバス」をもっと利用しやすくしてもらいたい 	<p>⇒新しいバスに、バス停ごとの乗降データを集計できる機器を導入しました。この乗降データの実績を基に、地域と連携してニーズを精査し、バス停やルートを定期的に見直すことで、利便性の向上を進めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・東大農園跡地など、未利用町有地の今後の活用は ・公共施設の集約は今後の行政に必要なことである 	<p>⇒役場庁舎や学校、体育施設といった公共施設の多くは、老朽化の進行や耐震性の不足が顕著で、建て替えや改修、廃止といった選択が必要です。人口減少時代を迎え、町は公共施設の再配置や町有地の有効活用を図るため、実施計画を作りました。施設の精査とともに、機能的なコンパクトシティを目指して、整備を進めていきます。</p>

基本目標4 「戦略的行政運営」

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口業務の機械化・システム化による効率化を進めるべきだ ・ 窓口の待ち時間を短縮してもらいたい 	<p>⇒行政改革の一環として、適切な担当窓口へ繋ぐワンストップサービスやコンビニでの証明書発行などを検討していきます。</p> <p>なお、ラディアンのITサービスコーナーや百合が丘地区の町民サービスプラザでも、各種証明書を発行していますのでご活用ください。(事前に営業日時や必要書類等をご確認ください。)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな課題に対応するため、役場の部署の統廃合を進めるべきだ 	<p>⇒行政改革の一環として、よりスリムで機能的、わかりやすい組織となるよう、平成30年度までに、組織数を平成27年度比10%減とすることを目指しています。</p> <p>平成30年4月には、役場庁舎の建設など新たな課題に対応しつつ、より一層の業務効率化と町民サービスを向上させるため、一部の組織名や業務分担を変更します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の相互利用についてもっとPRするべきだ 	<p>⇒近隣3市3町という大きな枠の中で、各市町が所有する施設を相互に利用できるよう協定を結んでいます。今後も町民の皆さんが目的に合った施設を利用できるよう、地域や種別を広げていくとともに、広報紙やホームページ、各施設の窓口等で相互利用についてPRしていきます。</p>

その他

意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型ショッピングセンターを誘致して町を活性化しては 	<p>⇒町内にはすでに複数のスーパーマーケットがあるほか、近隣市には大規模商業施設があることから、誘致に伴う人の流入は限定的と考えます。また、誘致によって既存の商店等を衰退させる可能性もあるため、現段階で誘致する予定はありません。</p>